

构建面向未来的AI图像 情感教育系统

AI情感共鸣大模型与教育的新思维



完美的系统，未解的困境

- 为何学生会突然失去动力？
- 为何同等内容在不同状态下效果天差地别？
- 为何“知道该学”却无法真正投入？

学习效果 = 认知 × 情感 × 体验

情绪状态并非学习的附加因素，而是基础条件。

Stanford University 2025:
积极情绪下知识吸收率是消极情绪的 **2.3倍**

现有AI教育的结构性缺陷与范式升级

理性系统 (Traditional AI)

逻辑:

识别情绪 → 分类情绪

关注点:

根据知识水平推荐内容，基于历史数据优化路径。

结果:

强调效率与正确率。情感维度仅能停留在“识别”，无法实现共鸣。

人性系统 (Affective Resonance AI)

逻辑:

理解 → 同步 → 生成 → 引导

关注点:

根据实时情绪状态生成内容，动态调整学习路径。

结果:

强调体验与持续性。与学习者状态建立匹配，不生硬、不对抗，主动引导进入最优状态。

忽视情感共鸣的学术实证代价

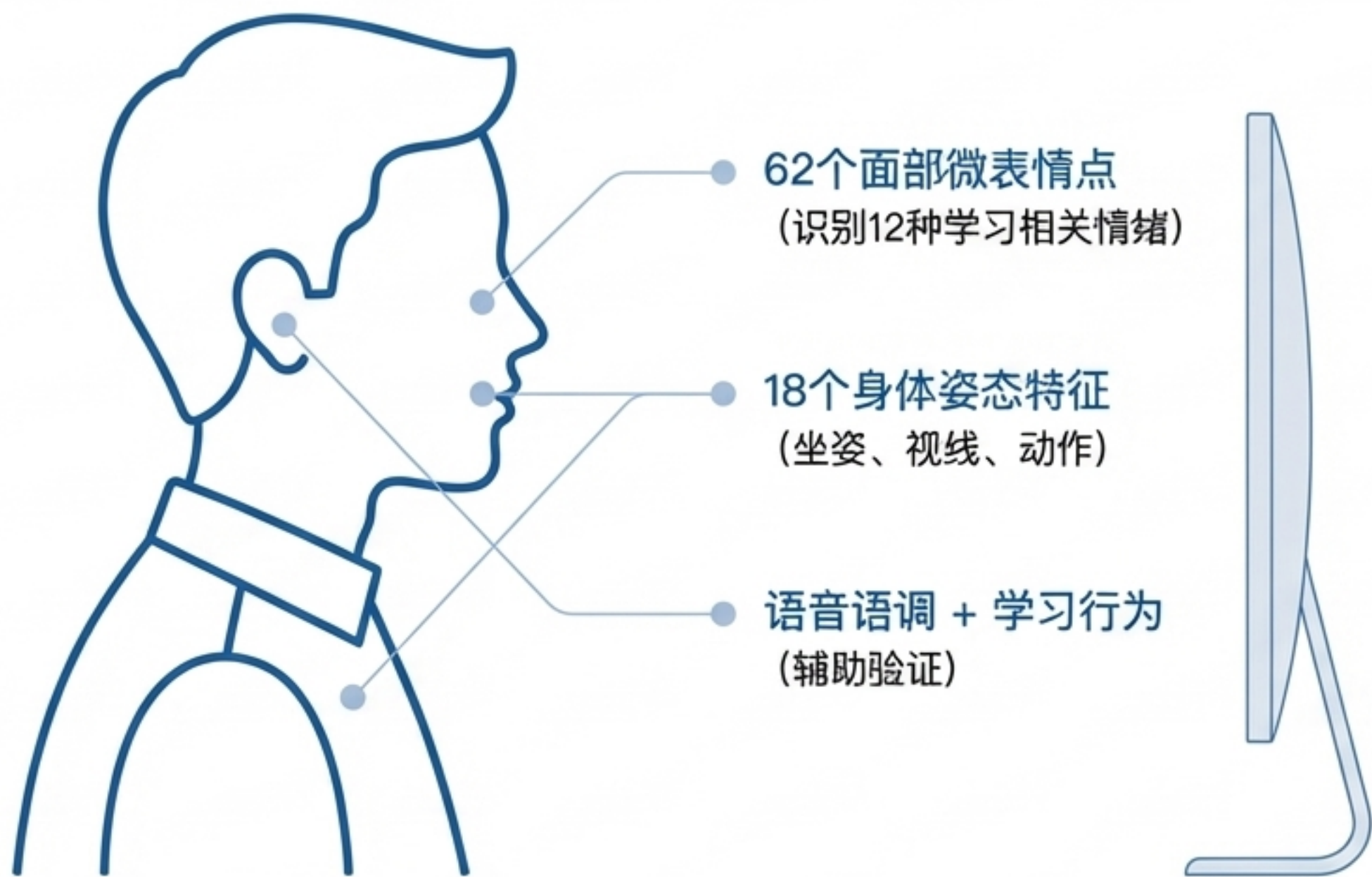
导向类型	核心问题	学术实证影响
认知导向	只关注正确率、知识点覆盖率	焦虑时学习效率下降 40%+
内容导向	优化“学什么”，不优化“什么状态学”	知识留存率差距达 36%
任务导向	强调时长 / 完成率，忽略学习体验	学习倦怠率提升 31%

AI不只是“知道你现在怎么样”，而是“帮助你变得更适合学习”。

AI情感共鸣大模型：四层闭环架构



感知层：多模态非侵入式图像情感采集



核心技术：

优化CNN模型，FER2013数据集准确率达达 **95%**

隐私保障：

数据本地化处理，原始图像实时删除，绝对不上云。

分析层：基于多维算法的核心决策引擎

1. 情绪实时分析

基于PAD三维情感模型，
输出【愉悦度 / 唤醒度 /
支配度】量化向量。



2. 学习习惯建模

LSTM网络预测未来
15分钟学习状态，生
成专属习惯档案。



3. 认知负荷评估

结合情绪与答题数据，
精准判断当前学习压力
是否适配。



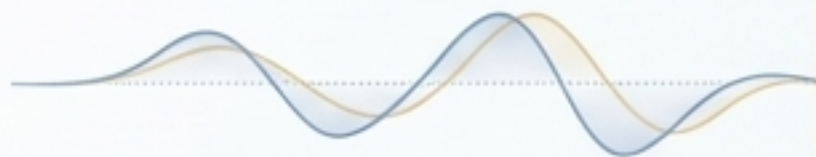
系统输出：

情感调节方案 + AI音乐参数 + 学习路径 + 机器人指令

生成层：跨模态情感调节与AI音乐干预

斯坦福大学神经科学实证支持的情绪调节机制。

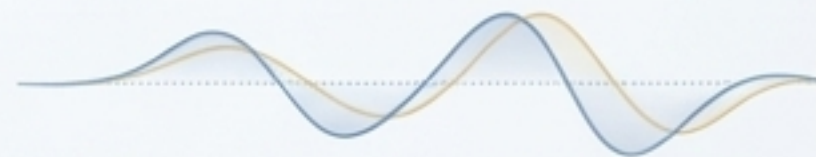
焦虑/挫败



[介入] 60-70BPM, 大调, 钢琴独奏 + 降低信息密度 (每屏 ≤ 3 个知识点)。

[结果] 3分钟内焦虑降低 **4.2** 分。

兴奋/积极



[介入] 100-120BPM, 明亮弦乐 + 提升挑战难度。

[结果] 学习时长延长 **28%**。

分心/无聊



[介入] 80-90BPM, 清晰节奏 + 多模态刺激。

[结果] 专注度提升 **23%**。

疲惫/低迷



[介入] 70-80BPM, 自然白噪音。

[结果] 困倦指数下降 **1.5** 个标准差。

终端落地：教育机器人的情感引导与习惯塑造

情感与习惯塑造策略

- 情感交互：
情绪匹配话术 + 动作 + 灯光，
避免生硬说教。
- 正向强化：
定时提醒坐姿/用眼；打卡奖励
机制，纠正不良习惯。

实证数据影响

普通儿童

注意力持续时间延长 **37%**，
习惯养成周期缩短 **60%**。

自闭症儿童

眼神交流次数提升 **45%**，
微笑次数提升 **100%**。

教育范式的三大根本升级

从“教知识”到“育新人”的演进。



知识
传递



情感驱
动学习



统一
教学



状态适
配学习



教师
中心



人机协
同支持

学习从单一的信息输入，转变为情感调节与意义建构的融合。

教学不再基于统一的标准时间线，而是基于学习者的动态情绪状态。

AI成为前置的情感助手，将教师从情绪劳动中解放，聚焦育人本质。

全面赋能：量化可验证的社会价值



推进教育公平，落实心理健康教育，构建有温度的未来教育生态。

坚守科技向善：联合国标准的伦理与合规

隐私保护

数据本地化处理，摄像头具备物理关闭功能，严格执行最小化采集原则。

儿童友好

纯净环境：无广告、无过度交互设计。
严格限制每日使用时长 ≤ 2 小时。

数据安全

端到端加密技术。数据最长保留期 ≤ 1 年，
强制定期自动清理。

人机边界

明确定位：AI仅为辅助工具，绝不替代父母与教师的核心育人责任与情感陪伴。





AI的未来在于理解人，教育的未来在于有温度。

“我们构建的不是一个冰冷的智能工具，而是一个理解孩子、回应孩子、陪伴孩子成长的教育生态。

愿以AI情感之暖，守护每一个孩子的学习之路，共创面向未来的人文教育新范式。”

※ 本資料は本研究大会に限って使用が認められています。
当学会および発表者本人の許可なく、転載・複製・転用することを禁じます。

科技向善 · 全球携手

未来志向型 AI 画像感情 教育システムの構築

AI 感情共鳴大規模モデルと教育の新たな思考



完璧なシステム、未解決の課題

- なぜ学生は突然モチベーションを失うのか？
- なぜ同じ内容でも、状態によって効果に大きな差が生まれるのか？
- なぜ「学ぶべきだと分かっている」のに、本当に取り組めないのか？

学習効果 = 認知 × 感情 × 体験

感情状態は学習の付随的要素ではなく、基盤となる条件である。

Stanford University 2025:
ポジティブな感情下における知識の吸収率は、ネガティブな感情時の **2.3 倍** である。

既存 AI 教育における構造的欠陥とパラダイムシフト

理性システム (Traditional AI)

- ロジック：
感情の認識 → 感情の分類
- 着目点：知識レベルに基づきコンテンツを推薦し、過去データをもとに学習パスを最適化する。
- 結果：効率と正確性を重視する。感情面は「認識」ととどまり、共鳴の実現には至らない。

感情共鳴システム (Affective Resonance AI)

- ロジック：
理解 → 同調 → 生成 → 誘導
- 着目点：リアルタイムの感情状態に応じてコンテンツを生成し、学習パスを動的に調整する。
- 結果：体験と持続性を重視する。学習者の状態に適合し、不自然さや対立を生まず、最適な状態へ能動的に誘導する。

感情共鳴軽視がもたらす学術的・実証的代償

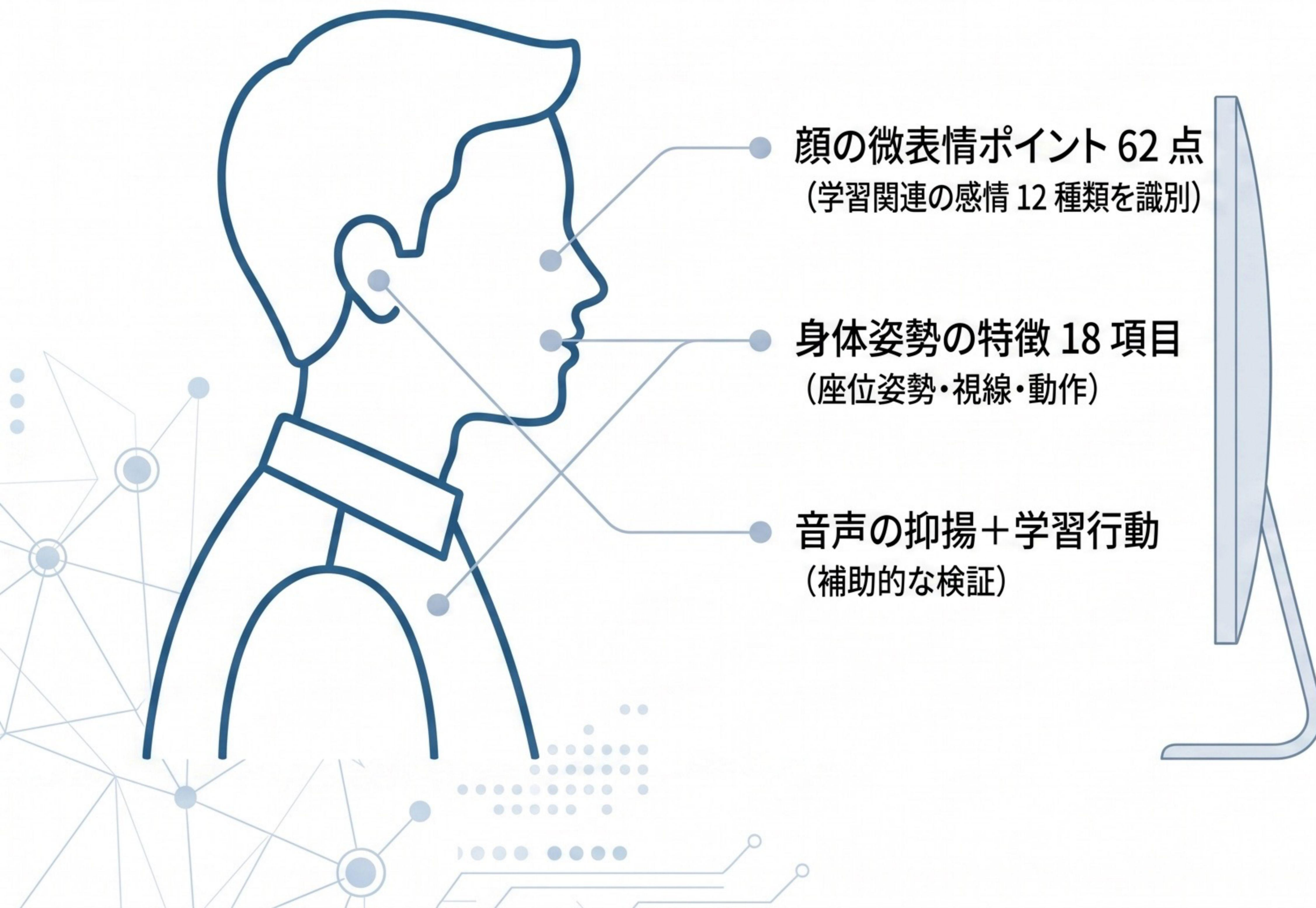
志向タイプ	核心課題	学術実証への影響
認知志向	正確率と知識項目の網羅率のみに注目する	不安状態において学習効率が40%以上低下
コンテンツ志向	「何を学ぶか」は最適化するが、「どのような状態で学ぶか」は最適化しない	知識の定着率に最大36%の差が生じる
タスク志向	学習時間／完了率を重視し、学習体験を軽視する	学習意欲の低下率が31%上昇

AI は単に「現在の状態を把握する」だけでなく、「学習により適した状態へと導く」ものである。

AI 感情共鳴大規模モデル：四層の閉ループ構造



感知層：マルチモーダル非侵襲型の画像感情データ取得



コア技術：

最適化された CNN モデルにより、
FER2013 データセットでの精度は
95%に達する

プライバシー保護：

データはローカルで処理され、元
画像はリアルタイムで削除され、
クラウドには一切保存しない。

分析層：多次元アルゴリズムに基づく中核意思決定エンジン

1. 感情のリアルタイム分析

PAD 三次元感情モデルに基づき、【快楽度／覚醒度／支配度】の定量ベクトルを出力する。



2. 学習習慣モデリング

LSTM ネットワークにより今後 15 分間の学習状態を予測し、個別の習慣プロフィールを生成する。



3. 認知負荷評価

認知負荷評価：感情および解答データを統合し、現在の学習負荷が適切であるかを高精度に判断する。



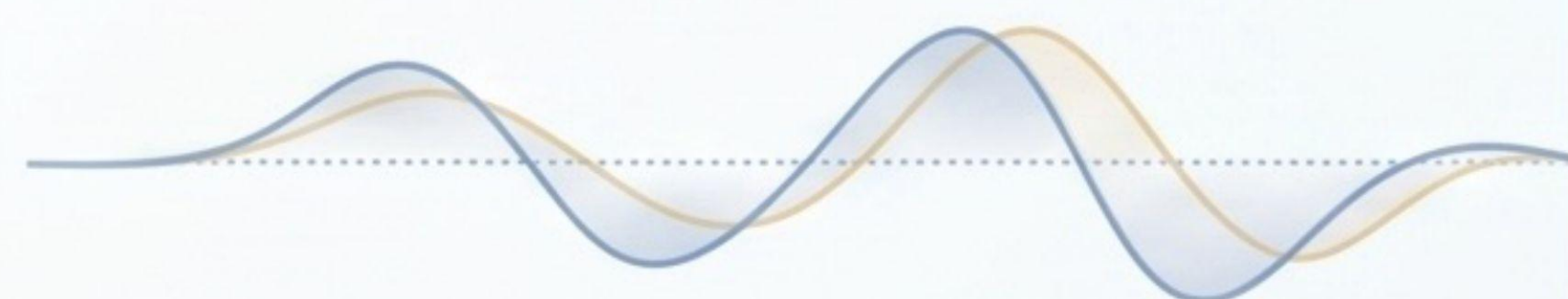
システム出力：

感情調整プラン+AI 音楽パラメータ+学習パス+ロボット指令

生成層：クロスモーダル感情調整と AI 音楽介入

スタンフォード大学の神経科学的実証に基づく感情調整メカニズム。

不安/挫折



【介入】 60～70BPM、長調、ピアノソロ＋情報密度低減（1画面あたりの知識ポイント ≤ 3 点）。

【結果】 3分以内に不安が **4.2** ポイント低下。

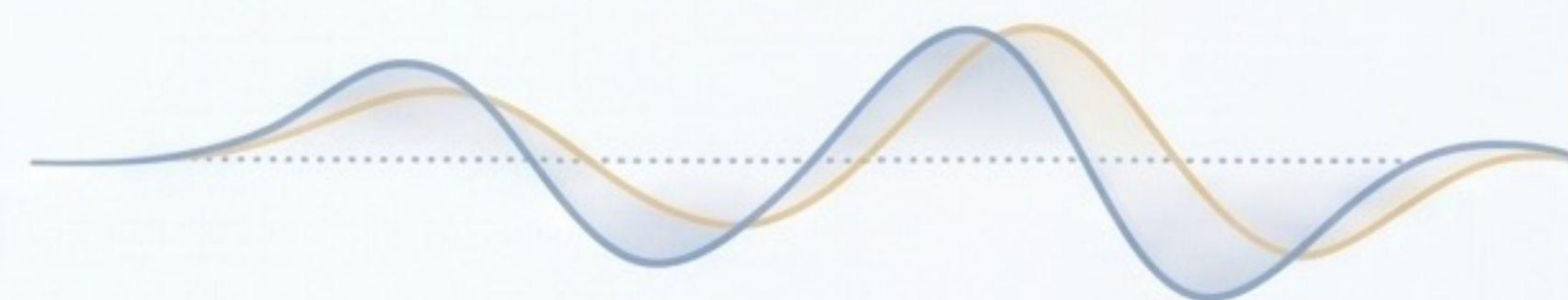
興奮/ポジティブ



【介入】 100～120BPM、明るいストリングス＋難易度引上げ。

【結果】 学習時間が **28%** 延長。

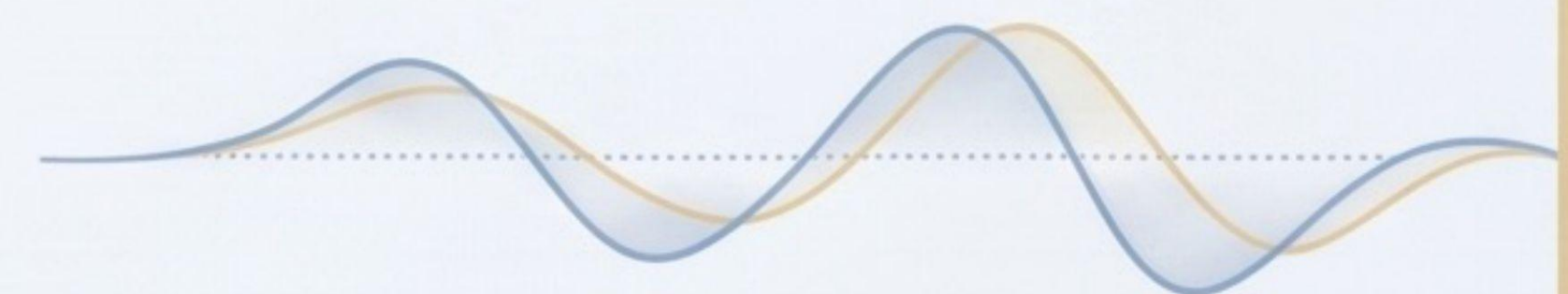
注意散漫/退屈



【介入】 80～90BPM、明確なリズム＋マルチモーダル刺激。

【結果】 集中度が **23%** 向上。

疲労/低調



【介入】 70～80BPM、自然ホワイトノイズ。

【結果】 眠気指数が **1.5** 標準偏差低下。

実用段階：教育ロボットによる感情誘導と習慣形成

感情および習慣形成戦略

- 感情インタラクション：
情緒適合話術＋動作＋ライト、
堅苦しい説教を避ける。
- ポジティブ強化：
定期的な姿勢/目の使い方の注
意喚起、達成カード報酬制度、
不良習慣の矯正。

実証データによる効果

一般児童

注意力持続時間延長 **37%**
習慣形成周期短縮 **60%**

自閉症児

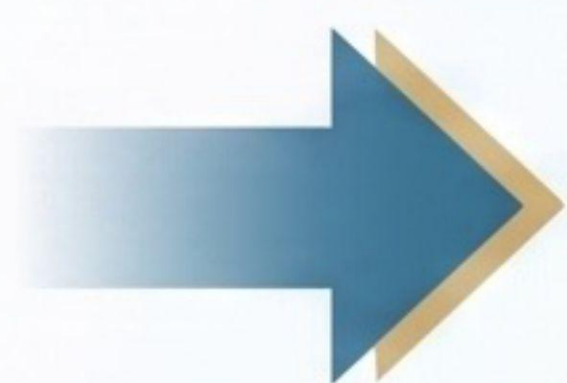
アイコンタクト回数向上 **45%**
笑顔回数向上 **100%**

教育パラダイムにおける三つの根本的変革

「知識を教える」から「人を育てる」への進化。



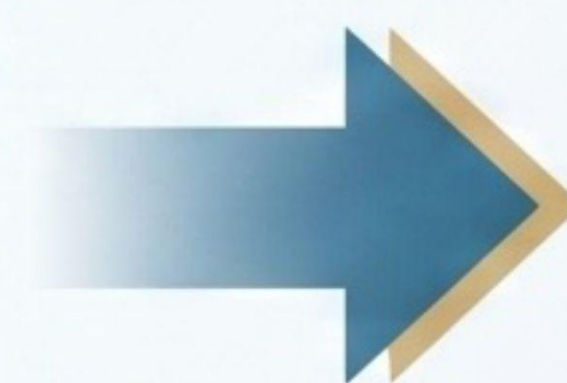
知識
伝達



感情駆動
型学習



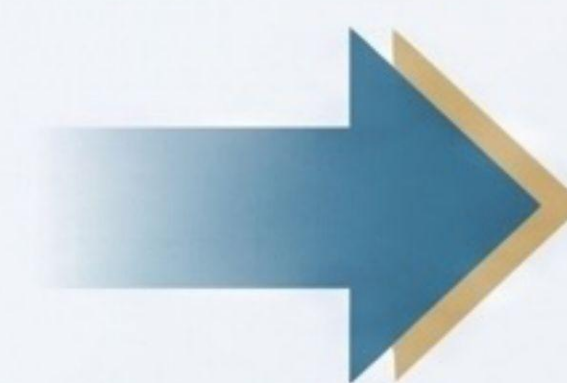
画一的
教育



状態適応
型学習



教師
中心



人間×AI
協働支援

学习从单一的信息输入，转变为情感调节与意义建构的融合。

教学不再基于统一的标准时间线，而是基于学习者的动态情绪状态。

AI成为前置的情感助手，将教师从情绪劳动中解放，聚焦育人本质。

包括的価値創出：定量的に検証可能な社会的価値



教育の公平性を推進し、メンタルヘルス教育を実装し、温かみのある未来型教育エコシステムを構築する。

テクノロジーの善用の堅持：国際基準（国連等）に準拠した倫理とコンプライアンス

プライバシー保護

データは端末側でローカル処理。カメラには物理的なオフ機能があり、データ収集の最小化原則を厳格に実施します。

子どもに配慮した設計

クリーンな環境：広告なし、過剰なインタラクション設計の排除。1日の使用時間を2時間以内に厳格に制限。

データセキュリティ

エンドツーエンドの暗号化技術を採用。データは最長1年間保管後、定期的に自動で強制削除されます。

人間とAIの境界

AIの位置づけを明確化：AIは補助的なツールであり、親や教師が本来担うべき育成の責任や感情的な寄り添いを、決して代替するものではありません。



AI の未来は人を理解することであり、教育の未来は温かさにある。

「我々が構築するのは冷たい知能ツールではなく、子どもを理解し、応答し、成長に寄り添う教育エコシステムである。
AI の感情の温もりをもって、すべての子どもの学びの道を守り、未来志向の人間中心の教育パラダイムを共に創造する。」

● AI時代下：アジア人材育成の新パラダイム

AI時代における アジア人材育成 の新パラダイム

技術の革命は止まらない。しかし教育の「本質」は変わらない。書本から実践へ、魂を揺さぶる「場景革命」が今、北京から始まります。

AI時代下の人材育成背景

UNESCOのデータによれば、世界58ヶ国がAI能力枠組みを構築中。195ヶ国ほぼ全てがAIリテラシーの向上を推進しています。

アジアの動向

中国： 2030年までにAIを小中高教育体系に完全導入。

韓国： 国家カリキュラムにAIを採用。大規模教員研修。

シンガポール： AI普及率世界最高水準。産学密着。

インド： SOARプロジェクトで基礎技能人材を育成。

北米の動向

米国： 2025年AI教育行政令。青少年能力育成の加速。

カナダ： 企業主導のスキル建設が成熟。

欧州の動向

英国： 国家AI戦略に基づき、教育を再定義。

EU： デジタル市民権とAI倫理を教育の核心へ。

58+

能力枠組み構築済みの国

2035

教育強国ロードマップ

未来の主流： π 型人材への転換

AIが単純作業を代行する中、人間に求められるのは「技術」と「人文」の二つの深い専門性と、それらを統合する「実践的能力」です。



技術的内核： AIツールを使いこなし、データの価値を抽出する力。



人文的素養： 批判的思考、共感、倫理判断力、そして想像力。

2035戦略ロードマップ

2026

基盤構築と普及

AIインフラの全校展開と全教員への能力研修の完了。

2030

アジア共生圏

アジア各国とのリソース共有、人材評価基準の共通化。

2028

場景革命の深化

社会課題を解決する実践型教育の標準化、評価制度のDX化。

2035

教育強国の完成

世界をリードする「魂の教育」新パラダイムの確立。

技術的素養

人文的素養

学際的・実践的思考

T型から π 型へ：AI時代の新たな生存戦略

場景革命： 北京の「魂」の教育

「教育強国建設計画綱要（2024-2035）」に基づき、北京は教室を出て社会を「場景（シーン）」とする教育改革を断行しています。

百千種子計画

AIリテラシーを持つ「種子」教員を育成し、教育現場からシステム全体を変革する戦略。

実践育人基盤

校内と校外、リアルとデジタルを融合させた、新たな智能型教育プラットフォーム。

CASE

中関村第一小学校の実践



AI心理・感情端末：学習者の心の変化をリアルタイムで捉え、個別最適化された情緒支援を提供。



智慧診断システム：膨大な学習データから個々の弱点を自動解析、指導効率を劇的に向上。



実践型ラボ：中関村のハイテク企業と直結した、課題解決型（PBL）の実践型教室。

中関村フォーラム

次世代を担う一人ひとりが
自分らしく輝くために

中関村日本駐在事務所は、この壮大なビジョンを実現するための架け橋となります。AIの波を恐れるのではなく、その力を「人間性の開花」のために使い、アジア全体が共に成長する未来を創造します。



志と信仰

民族復興の重任を担い、
揺るぎない志を持つ人材
を育てます。



情熱と探索

好奇心の炎を絶やさず、
未知の領域へ踏み出す勇
気を育みます。



共感と連帯

魂と魂が響き合い、世界
を愛で満たす人々を育て
ます。

ご清聴

ありがとうございました。

※ 本資料は本研究大会に限って使用が認められています。
当学会および発表者本人の許可なく、転載・複製・転用することを禁じます。

和而不同，殊途同归

— 中日教育场景下的AI应用差异与融合创新。

多様性の尊重と共通の到達点

— 日中教育におけるAI応用の差異と融合イノベーション

Iflytek Education Busniess Group

Country manager 史敏傑

引言：AI重塑中日教育

はじめに：日中教育のAI変革



通用人工智能时代下的教育范式正在经历深刻重塑。全球教育体系正面临从传统知识传授向高阶智能效能革命的历史性跨越。

汎用人工知能(AGI)時代において、教育パラダイムは深い再構築を経験しています。世界の教育システムは、伝統的な知識の伝達から高次の知的効率革命へと歴史的な飛躍に直面しています。

中日两国作为东亚教育的典范,在应对数字化浪潮时,展现出了基于不同社会语境的独特演进路径。

東アジア教育の模範である中日両国は、デジタル化の波に対応する際、異なる社会的文脈に基づく独自の進化の道筋を示しています

科大讯飞公司介绍

iFLYTEK会社紹介

人工智能助力教育，因材施教成就梦想

『AIで進化する教育。個性を伸ばし、夢をつかむ』

アジア太平洋地域をリードするAI技術の上場企業

亚太地区的AI领军企业

- **iFLYTEKは1999年に設立（本社:安徽省合肥市）**

科大讯飞公司成立于1999年（总部设于合肥）

- 音声合成、機械学習、自然言語理解、推論などのAIコア技術は世界トップレベル、中国の生成AIを牽引；
2018年～2023年には61項目の**国際AIコンテストで1位優勝**

在语音合成，机器学习，自然语言处理，AI大模型方面牵引着中国国家队的發展，2018年到2023年获得61项国际AI大赛冠军

- 2008年深セン証券取引所上場(002230)、**市場価値2.5兆円規模、2025年売上高約6,000億円**

2008年深交所上市，市场规模突破1100亿人民币，2025年整体营收突破270亿元

- 中国AI音声技術の市場**シェア60%**

中国AI语音技术市场份额超60%

- 2023年中国国家初めての**人工知能科学技術進歩賞1等**を獲得

2023年中国第一个国家级人工智能科学技术进步奖1等奖

- 2018年に英検協会と共同プロジェクト参画、大阪万博2025における中国パビリオンで技術展示

2018年和英检协会共同实验，2025世博会AI技术展示

中国安徽省合肥市本社





iFLYTEKの教育事業による中国での応用 讯飞智慧教育应用在全国落地生根

32_↑

県級行政区
省级行政区

50000⁺

利用学校
深度应用校

1.5亿⁺

累計先生と生徒数
累计服务师生数

大模型引擎:讯飞星火大模型(Spark Desk)

iFLYTEK自社開発のLLM: IFLYTEK Spark



跨模态理解

クロスモーダル理解

超越同类模型的视觉、语音与文本综合解析能力，实现复杂教学场景的精准映射。

同種モデルを凌駕する視覚、音声、テキストの総合解析能力により、複雑な教育シーンの正確なマッピングを実現します。



深度逻辑推理

深い論理的推論

升级至星火V4.0，从传统的“判别式”跃升至“生成式”，提供多步逻辑诊断。

Spark V4.0にアップグレードし、従来の「判別式」から「生成式」へ飛躍し、多段階の論理的診断を提供します。



极低延迟并发

超低遅延コンカレンシー

流式接口设计使首帧响应速度达毫秒级，保障超大规模教育体系的高可用性。

ストリーミングインターフェース設計により、初回応答速度をミリ秒単位にし、超大规模教育システムの高可用性を保證します。

中日教育数字化的结构性驱动力

日中教育DXの構造的駆動力



政策双螺旋:顶层逻辑差异

政策の二重らせん:トップレベルのロジックの差異



中国:资源普惠与高维跃迁

資源の普遍的恩恵と高次元への飛躍

- 政策纵深推进,在“双减”背景下重构教育新基建。
 - 「双减」の背景の下、教育インフラを再構築し、政策を深く推進。
- 以大模型驱动教学考评管全链路,智能评价体系规模化普及(全国25个省级行政区高考常态化应用)。
 - 大規模モデルで教育・学習・評価の全プロセスを駆動し、スマート評価システムを大規模に普及(全国25省レベルでの大学入試での常態化応用)。



日本: NEXT GIGA与结构现实

NEXT GIGAと構造的現実

- 基础设施二次迭代:从“一人一机硬件普及”转向“网络环境重构与大容量并发通信保障”。
 - インフラの二次反復:「一人一台の普及」から「ネットワーク環境の再構築と大容量同時通信の保証」へ移行。
- 文部科学省为终端更新及网络评估(アセスメント)提供明确的财政补助支持。
 - 文部科学省は、端末の更新およびネットワークアセスメントに対して明確な財政補助支援を提供。

日本现实挑战:働き方改革(工作方式改革)

日本の現実的課題:働き方改革

77.1%

中学教师月加班超 “月45小时” ,
36.6%超过过劳死上线80小时

中学校教員の月間残業時間が『月45時間』を超えており、36.6%が過労死ラインである80時間を超過している。

迫切的社会级核心诉求 切実な社会レベルのコアニーズ

日本社会正面临严峻的教职工过劳危机。削减机械性事务、释放教师精力,不仅是教育质量的保障,更是关乎教师身心健康的核心议题。

日本社会は深刻な教職員の過労危機に直面しています。機械的な業務を削減し、教員の活力を解放することは、教育の質を保証するだけでなく、教員の心身の健康に関わる核心的な問題です。

核心研究框架:底层逻辑解析

コア研究フレームワーク:基層ロジックの解析



和而不同 (Harmony in diversity) 多様性の尊重

充分认知两国在宏观驱动力、人口结构及体制诉求上的结构性差异,尊重本土化语境。

マクロ推進力、人口動態、体制のニーズにおける両国の構造的差異を十分に認識し、ローカライズされた文脈を尊重する。



殊途同归 (Same destination) 共通の到達点

共同指向减轻教师负荷、实现个体最优化学及对学生心理精细化呵护的终极愿景。

教員の負担軽減、個別最適化学習の実現、生徒のメンタルケアという究極のビジョンを共有する。

核心场景对标

コアシーンのベンチマーク

中日教育AI产品形态的演进与互补映射
中日教育AI製品形態の進化と補完的マッピング



场景一：教育评价客观化与“記述式問題” 瓶颈

シーン1：教育評価の客観化と「記述式問題」のボトルネック

日本本土痛点：三重苦

日本国内の課題：三重苦

主观描述题批改面临“标准不一致、返还周期长、教师负担过重”的困境，甚至迫使大学入学共通测试放弃引入。

記述式問題の採点は「基準の不一致、返却期間の長さ、教員の過重負担」という課題に直面し、大学入学共通テストでの導入を断念させるほどです。

本土方案现状：受限算力

国内ソリューションの現状：計算能力の制限

当前系统多停留于 workflow 辅助，“答题卡”形式较多，面对长篇幅深层语意推理时，受限于底层模型算力与多模态处理能力。

現在のシステムはワークフロー補助に留まっており、答案用紙のとても多いです。長文の深い意味推論に直面した場合、基盤モデルの計算能力とマルチモーダル処理能力に制限されます。

中国的解决方案
中国の解決法

AI + 教育デバイス製品

Spark採点デバイス：すべての教師にAIアシスタント

教育に特化したレイアウト分析技術

自由なレイアウト、フォーマット制限なし
試験問題の解析精度 > **99%**

多科目AI採点と指導

国語、数学、英語
95%+

マーキング印刷技術

修正液、付箋、折り目のある宿題に対応
原本に痕跡を残し、ランダム順序で印刷

AI採点で負担が大幅減

90分間/クラス



人工採点

5分間/クラス

SPARKスマート採点機

学習状況統計と分析

60分間/クラス



人工分析

1分間/クラス

SPARK分析

エラー解決率向上

50%

普通の宿題

73%

パーソナライズ宿題

*数据来源：10所学校，30+老师在24年春季学期的试点数据



SPARKスマート採点機

スマート採点

スキャン即採点、原本に採点痕跡を残せる

学習状況分析

クラスの共通点、学生の個性

個別化宿題

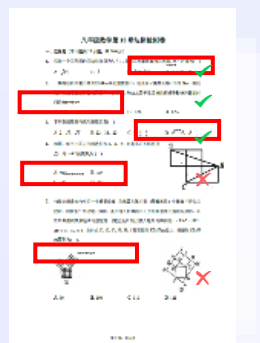
知識グラフに基づくパーソナライズド練習

中国的解决方案 中国の解決法

AI + 基礎教育

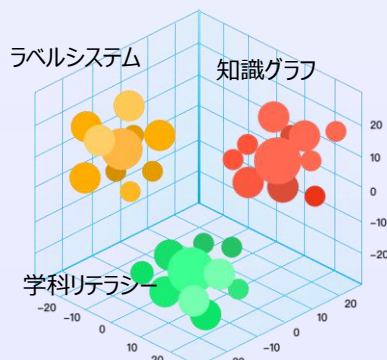
中国初のビッグデータとAIによるパーソナライズ教育を実現

学習状況データ収集

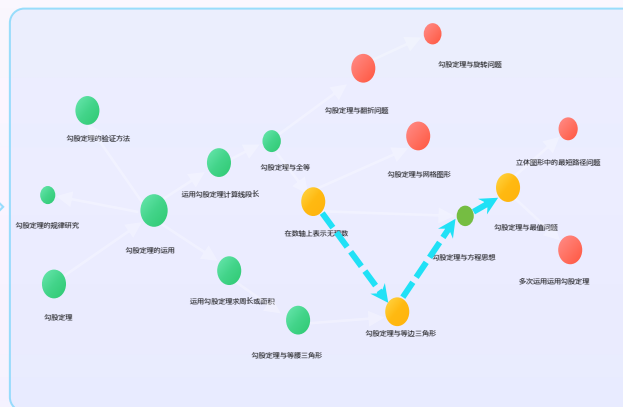


スマート採点機

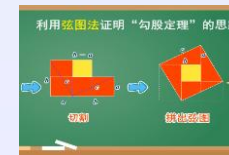
学習状況分析



学習経路の計画



自主学习



ビデオ学習



テーマ別トレーニング

問題推薦

自己診断

識別とデータ集約技術

音声認識が人間の速記者のレベルを超え、国際音声認識コンテストで3連覇 画像認識技術が国際大会で3つの部門で優勝

認知・評価技術

高考作文の採点に応用
機械読解理解 SQuAD2.0 スコア
人間の平均レベルを上回る

ナレッジグラフ構築技術

国際知識グラフ構築コンテスト優勝
大量かつ完備な学科グラフ資源

パーソナライズ学習技術

国際教育チャレンジ NeurIPS 多部門優勝
呉文俊人工知能科学技術賞 一等賞

跨国实证验证：多语种复杂环境的成功

多国間実証検証：多言語の複雑な環境での成功



新加坡南洋女子中学案例

シンガポール南洋女子中学校の事例

完美应对包含中文、英文在内的多语种复杂试卷，超越常规的“关键词对错评判”。

中国語と英語を含む多言語の複雑なテストに完璧に対応し、通常の「キーワード正誤判定」を凌駕します。

提供精确到词句的语法纠错、分步骤逻辑评价，甚至直接生成个性化的写作修改建议，构建“测-批-评-学”闭环。

単語や文レベルでの正確な文法修正、ステップごとの論理評価を提供し、パーソナライズされた執筆修正アドバイスまで生成し、「テスト-採点-評価-学習」のクローズドループを構築します。

场景二：教务行政减负与生产力释放

シーン2：教務行政の負担軽減と生産性解放



痛点聚焦：繁杂的案头工作

課題の焦点：煩雑なデスクワーク

教师在备课、校务会议及繁重的“保护者联络（家长通信）”上消耗大量精力

教員は授業準備、校務会議、重い「保護者連絡」に多くのエネルギーを消費しております。



效能跃迁：星火教师助手

効率の飛躍：Spark教員アシスタント

基于跨库资源检索与PPT自动生成，编制高质量单元教案时间从2小时压缩至25分钟，效率提升56%。

クロスデータベースのリソース検索とPPTの自動生成により、高品質な単元教案の作成時間を2時間から25分に短縮し、効率を56%向上させます。

中国的解决方案 中国の解決法

AI + 教育デバイス製品

Sparkスマート黒板：黒板を板書ツールから教師AIアシスタントに進化

マルチモーダル 理解と提案

知識の説明をより直感的に、
より生き生きと



自然な インタラクション

教師の授業を
より便利に、より親しみやすく



バーチャル サポート

子どもたちがより探究でき、
より興味を持てるように



レッスン記録と共有

教師と生徒がより効率的に
授業の要点を振り返ること
ができるように



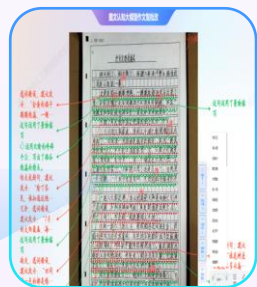
OCR解説

習題の講評を
より効率的に、より詳細に



LLM採点指導

AIが教師のように、作文を詳
細に添削し、個々の能力に応
じた指導を行う



深度融合潜能：教务专属智能引擎

深い融合の可能性：教務専用のスマートエンジン

96.1%

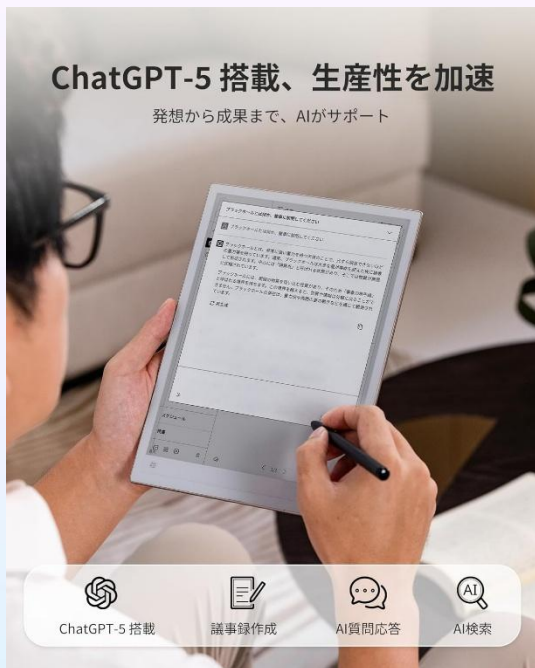
日语自然语音评测准确率
日本語自然音声評価の正解率

本土化定制潜力巨大

ローカライズのカスタマイズの大きな可能性

依托极高的外语识别率，大模型具备深度本土化微调的条件。未来可一站式接管会议纪要提取、繁复公文撰写，重塑教务运作效率。

極めて高い外国語認識率を活かし、大規模モデルは深いローカライズの微調整を行う条件を備えています。将来的には、議事録の抽出や複雑な公文書作成をワンストップで引き受け、教務の運営効率を再構築できます。



场景三：外语教育与多元文化融合

シーン3：外国語教育と多文化融合

师资不均衡痛点 教員不足の課題

外籍英语教师（ALT）资源分布存在不均衡，影响跨文化交际与口语实战能力培养。

外国人英語指導助手（ALT）の配置に深刻な不均衡があり、異文化コミュニケーションやスピーキングの実践能力の育成に影響を与えています。

新移民子女的融合命题 新移民の子供たちの溶け込み命题

外国籍劳动者随迁子女在公立学校内的语言适应及融入问题，亟需化解。

外国人労働者の同伴児童の公立学校における言語適応と統合の問題は、早急な解決が必要です。

中国的解决方案
中国の解決法

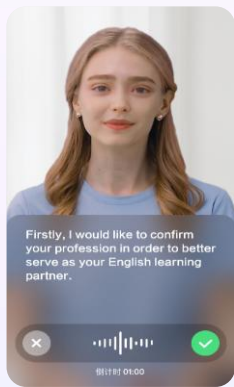
AI + 基礎教育

専門教師不足、及び地域、都市、農村学校の教育資源不足の課題を解決するために、
政府教育機関とAIバーチャル教師に関する共同研究を推進

科学知識に関するインタラクティブ
クイズ形式のAI教師



1対1のスピーキングコミュニケーション
AI英語家庭教師



創造性を刺激する
AIアート教師



生徒向けのAI心理パートナー



情感计算前沿：语音情感识别

感情コンピューティングの最前線：音声感情認識

穿透隐性教育数据 潜在的な教育データを貫く

日本社会高度关注防范校园霸凌（いじめ）及改善拒学（不登校）现象。

日本社会は、いじめの防止と不登校現象の改善に高い関心を持っています。

科大讯飞依托深厚的多模态情感计算技术，在常规语音交互中分析学生声纹疲劳指数。捕捉心理隐患早期特征，为教育者隐秘提供风险预警。这是高级阶融合的黄金交汇点。

iFLYTEKは、深いマルチモーダル感情計算技術に依存し、日常的な音声対話において生徒の声紋疲労指数を分析します。心理的リスクの初期の兆候を捉え、教育者に秘密裏にリスク警告を提供します。これは高次元での統合の黄金の交差点です。



写在最后的展望

最後に：『未来への展望』



构建亚洲智慧教育的协同范式

アジアのスマート教育の協調パラダイムの構築

在通用人工智能纪元,利用大模型红利全面扬弃流水线式知识灌输。解放教师,使其 回归 “立德树人” 的情感交互与灵魂启迪。

汎用人工知能の時代において、大規模モデルのメリットを活用し、組み立てラインのような知識の詰め込みを完全に放棄します。教員を解放し、「徳を立て人を育てる」という感情的な交流と魂の啓発に回帰させます。



ご清聴ありがとうございました

